

主人公

三郷中学校 校長通信

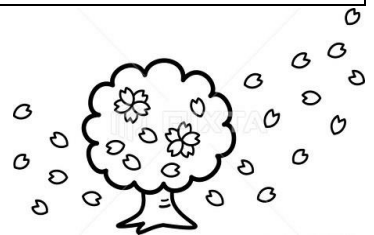


祝卒業号

文責 久保茂樹

令和2年(2020)年3月13日(金)

花に嵐のたとえもあるぞ さよならだけが人生だ!



とうとう明日という日がやってきますね! 奈良学園大学の体育館でみなさんに歓迎のあいさつをした入学式から、気が付けば3年という月日が流れました。心配していた仮設校舎での生活を先輩方と見事に乗り越えてくれたこと、本当にたくましく嬉しく思っています。

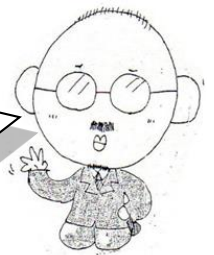
いぶせますじ さんしょうお
上記の文言は、井伏鱒二(「山椒魚」で有名な小説家)が漢詩を和訳したものです。私は、最初この言葉を聞いて「なんて割り切った冷たい考え方だろう、こうは考えられないな〜」と
さかずき
思っていました。しかし、この言葉には前段がありました。「この杯を受けてくれ、どうぞなみなみ注がしておくれ・・・」というものでした。つまり、「今こうしてあなたと向き合っている時間を共に楽しもう、そして大切にしよう、今は咲いている花もいつかは散るように、別れは必ずやってくるものだから・・・」と作者は読む人に訴えたかったのです。

みなさんの人生には「出会い」と「別れ」がこれから幾度となく訪れることでしょう。

まさに「**出会いと別れが人を成長させ、強くする**」のです。

もちろん、その「出会い」と「別れ」をしっかりと活かせるかは、「主人公」であるあなた次第であることも知っていて下さいね。

一期一会! みなさんと、出会
えた奇跡に感謝感謝です!



では、寂しいけれど笑顔でお別れです! 新たなステージでのみなさんの活躍を期待して最後のメッセージとします。

2. 保護者のみなさまへ

新校舎でのスタートから、あっという間に1年が終わろうとしています。仮設校舎で始まったお子様の中学校生活も明日をもって終わることとなります。

苦勞をかけた2年間に加え、今回のコロナウィルス感染症への対応のため、大幅に縮小した卒業式を執り行わなければならない事態になりましたこと誠に残念で悔しく思っています。子供たちの3年間の苦勞と努力に応えるべく、次年度も「これからの三郷中学校のあるべき姿」を常に模索しながら「地域や保護者の皆様から愛される学校づくり」を進めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様の、本校に対する温かいご支援ご協力に対しまして改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました!